



大阪錦画日々新聞紙 第 47 号

東京府下前野村
 經德寺の
 和尚へ
 一入り
 住居をして居られし三日も
 見えぬか不思議に迎取らる寺へ
 まりの和尚の居間を引明か
 御經の徳もあらざる寺号
 自得と云ふの土あて血あそ
 死んで居る骸小目玉くちねた
 キも足も喰ひさられと親指へ度ふ
 落してつる様子に頭死ぶもあらざるを
 執程う肉を食ふと思つ情あつて往生遂らる
 文花堂記
 明治五年五月の頃讀賣子百号ニ出ル

大阪府下前野村
 經德寺

文花堂記
 明治五年五月の頃
 讀賣子百号ニ出ル

大阪錦画日々新聞紙47号 文庫10-8068-37

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

